

桜新町ショッピングプロムナード 都道427号/区道(サザエさん通り) 基本・実施設計

所在地： 東京都世田谷区桜新町
 発注者： 東京都／中央復建コンサルタント⑭
 世田谷区桜新町商店街振興組合
 期間： 1994～2004
 道路延長：約520m(都道)
 約465m(区道)
 歩道幅員：2.4m～9.5m(都道)
 8m～11m(区道)
 業務概要：修景設計、現場の設計監理
 設計内容：歩道舗装、車道表層舗装、照明柱、
 ポラード、地上期修景ソート・パノ、柱
 パノ、装飾灯、植栽
 賞：2004年IWASAKI環境照明賞優秀賞

世田谷区のショッピングプロムナード整備事業のモデル商店街として、実施された2つの道路(都道と区道)の整備事業である。

1982年より地元商店街と協議を重ね、地元の要望を取り入れて策定した基本構想、基本計画に基づき、道路修景事業が実施された。

都道では、都会的な住宅地の商店街に相応しい落ち着いたモノトーンの舗装材の整備と併せて、桜新町の象徴である八重桜並木の補植や、植栽樹を活かした長尺のベンチ、デザイン街路灯を設置するなど、地元の要望を取り入れた整備内容となっている。

区道の整備にあたっては、その特徴を活かしつつ、先行整備された都道との調和、一体感の創出に配慮し、舗装材の色、街路灯の意匠を工夫した。

区道は、サザエさんで有名な長谷川町子美術館に繋がる道であり「サザエさん通り」として地元で親しまれていることから、車止め、地上器、装飾灯に、絵タイルやシートとして「サザエさん」一家のキャラクターを使用している。漫画のキャラクターをまちづくりの起爆剤とする「さきがけ」的な試みである。

